

鳥取 会報

第39号

2025年1月



八東川を颯爽と渡る隼（若桜鉄道） 写真提供:八頭町観光協会

目次	表紙	1	高齢者活躍人材確保育成事業実施状況	14~17
	新年のご挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介	18~19
	新年のご挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（八頭町SC、湯梨浜町SC）	20~21
	理事長・会長の抱負	4~10	趣味のひととき（鳥取市SC、琴浦町SC）	22~23
	事業実施状況	11~13	正会員名簿・あとがき（裏表紙）	24

新年のご挨拶



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 有馬 均

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、おだやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新年から能登半島の大地震により甚大な被害が発生したほか、降雨災害など自然災害が各地でありました。本年は災害のない穏やかな年であることを願っております。

会員数はコロナ禍以降減少が続いており依然として下げ止まっています。仕事量については増加しつつあります。

会員拡大活動を推進するために（以下、昨年十月松江市で開催の中国ブロック役員研修会における全シ協の石原巨業務部長の講演要旨の一部）

○女性会員の割合は約三十五%（現状）

○女性会員の更なる拡大に向けた活動

会員の拡大に当たっては、高齢者人口の男女割合等からみて拡大の余地が大きい。女性会員の確保に重点的に取り組む。

社会のあらゆる分野で女性が活躍している時代↓組織構成が男性に偏っている現状を是正し女性も男性も活躍する業界（シルバー人材センター）にと的を射た講演でした。実践いたしましょう。

近年シルバー人材センターを取り巻く環境は「インボイス制度の導入」また「フリーランス新法の施行」等、目まぐるしく変化しております。これに伴って実務量も増加しており、誤りのないよう万全を尽くさなければならぬと思っております。

本年も安全就業を最優先の課題とし、「安全第一」に努め会員拡大を目指しましょう。終わりに、本年が皆様にとって健康で幸多くよい年になることを祈念して新年のご挨拶といたします。

第13期 公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会理事及び監事名簿

役職名	氏名 (敬称略)	所属
代表理事	有馬 均	公益社団法人南部広域シルバー人材センター理事長
代表理事	田民 義和	公益社団法人倉吉市シルバー人材センター理事長
代表理事	谷口 辰夫	公益社団法人智頭町シルバー人材センター理事長
理 事	松岡 勉	公益社団法人米子広域シルバー人材センター理事長
理 事	中澤 博之	公益社団法人岩美町シルバー人材センター理事長
理 事	木下 晴正	一般社団法人八頭町シルバー人材センター理事長
理 事	米村 繁治	公益社団法人湯梨浜町シルバー人材センター理事長
常務理事	安田 秀樹	公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会事務局長
監 事	日置 勝彦	公益社団法人北栄町シルバー人材センター理事長
監 事	玉木 都我雄	公益社団法人米子広域シルバー人材センター会員

新年のご挨拶



鳥取労働局長

平川 雅 浩

シルバー人材センター会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。穏やかに新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震により、不安な思いをされた方もあったかと思えます。一方で、パリ五輪での日本人選手の活躍や大リーグ大谷選手の活躍などスポーツ界での明るいニュースもありました。

また、秋には鳥取県で、健康増進や長寿社会の形成に寄与するための全国健康福祉祭（ねりんピック）が開催され、小さなお子様から高齢者の方まで幅広い世代の方が参加されたイベントがありました。

新型コロナウイルスの状況は、患者数の増減があるものの、一定程度落ち着いており、県内の経済活動も平常に戻り、商業施設や観光地の客足も賑わってきているように見受けられます。

さて、鳥取県内の雇用情勢につきましては、有効求人倍率が全国とほぼ同水準で推移しており、人手不足感が続いている状況にあります。

この人手不足を解消するには、一人でも多くの就業者を増やしていく必要があります。

そのためには、女性、障害者、外国人の方、そして高齢者の方など様々な方がそれぞれの希望に応じた働き方ができる職場環境の整備、すなわち働き方改革の推進が重要であると考えています。



特に、鳥取県においては、人口の約三分の一が六十五歳以上となっており、この割合は今後ますます増加していくと見込まれております。こうした中、労働局としましては、生涯現役社会の実現を着実に進めていくため、シルバー人材センターと連携しながら高齢者が地域で働ける場、社会を支え活動できる場の拡大に引き続き取り組んでいくこととしております。

会員の皆様には、これまでに培った経験を活かして、社会の支え手として一層ご活躍をされることをご期待申し上げますとともに、本年が皆様にとって明るい良い年となることを祈念して、新年のご挨拶いたします。

シルバー人材センター 理事長・会長の抱負



公益社団法人鳥取市シルバー人材センター



理事長 奥田 恒久

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、おだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本センターの会員数、契約額は、令和四年度、五年度ともに増加し、活力に満ちたセンターになっています。

昨年は、南ドイツ新聞社の取材を受け、本センターの活動がドイツで紹介されました。その後、記事を入手した厚生労働省から、全シ協を通じて、取材の経過について、問い合わせがありました。

また、FM鳥取の「RADIO BRD」に職員が出演して本センターの活動を紹介し、会員や事業の拡大に向けて、広報活動を展開したところです。

さて、昨年十一月にフリーランス新法が施行されました。当該新法に対応するため、全会員に会員専用サイト「Smile to Smile」にログインするためのIDとパスワードを送付したところ、七割以上の会

員が利用登録され、センターが明示する就業条件をスマートフォンやパソコンで見えていただいているところです。

今年、令和八年度から個人のお客様との契約を新契約方式による契約に変更するため、事務処理の方法を見直していく予定です。

また、令和七年四月から公益法人制度が変わるため、適切な資金管理を行い、地域社会への貢献を目指していきます。

終わりに、関係各位のご発展と会員の皆様並びにご家族のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



理事長 松岡 勉

公益社団法人米子広域シルバー人材センター

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域の皆様、行政や関係機関のご支援によりシルバー事業の活躍の場が図られていることを厚くお礼申し上げます。

人口減少、少子高齢化が進行する我が国は、六十五歳以上の高齢者人口が三、六二五万人で、高齢化率が約二十九％に達しております。シルバー人材センターは健康で働く意欲のある地域の高齢者の臨時的・短期的な就業と雇用の促進を図るため、個人・家庭をはじめ各種団体、企業、公共から多様な就業機会を確保し提供しているところです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から約五年が経過し、日常生活や社会経済活動は回復してきましたが、当センターにおいては、依然として会員数や受注件数が減少するなど様々な影響が続いています。人生一〇〇年代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っていく必要があります。

当センターに対する地域の期待にこたえていくため、地域における人手不足、政府が進める高齢者就業施策の方向性を踏まえた上で、会員拡大の取組みも進め、企業・事業所等における人手不足分野での就業機会の開拓、マッチングの強化により、新たな就業機会の創出を図ります。会員の就業環境の整備を図るため、就業条件の明示等、業務のデジタル化も推進していきます。

終わりに皆様にとって、明るい希望に満ちた良い新年になりますことを祈念し、新年のご挨拶いたします。

公益社団法人倉吉市シルバー人材センター



理事長 田民 義和

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、新年をお健やかに迎え
のことと心からお喜び申しあげます。

本年は、干支の組み合わせ四十二番目「乙巳（きのとみ）年」です。「乙」は困難があつても紆余曲折しながら進む、しなやかに伸びる草木」を、「巳」は再生と変化』を意味するといわれています。インボイス制度、フリーランス新法等々事業環境は引き続き厳しいものがありますが、会員の皆さまと一緒に頑張ってまいります。

さて、センターが取組む最重要課題は、安全就業と会員増強です。「命は全てに優先」します。センターでは会員の安全就業を前提に受注を判断し、会員の皆さまは、安全ルールを順守され事故の無い一年にしていきましょう。

また、会員増強については、会員・職員一丸となつて仲間づくりをしていきましょう。会員の皆さまの「声掛け・誘い」が一番の増強策です。

本年もシルバーの基本理念のもとで、「明るく・楽しく・元氣よく・仲間とともに」をモットーに、皆様が就業を通して社会とつながり、仲間とつながり、心身ともに豊かな生活が実現できるよう力を合

わせ、シルバー事業を進めていきましょう。ひとり一人が事業の主役です。本年もどうぞよろしくお願ひします。

終わりに、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申しあげますとともに、連合会並びに各センターの皆様のご健康とさらなる発展、ご活躍をお祈りして新年のご挨拶といたします。

公益社団法人境港市シルバー人材センター



理事長 米村 健治

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれては、栄えある新春を穏やかに迎へることとお喜び申し上げます。

昨年は、コロナ禍からの混沌が過ぎ去りデフレから脱却しつつある状況で、社会全体では賃上げと企業の設備投資が高水準で進行しました。一方、世界各地の紛争は未だ終息の気配が見えず不安感も拭きできていません。このことから、明るい展望と不透明な先行きが、同居しているような一年でした。

このような中、当センターでは、社会全体の労働力不足から新規会員の獲得には苦戦が続き、高騰する諸物価への適応にも苦慮しました。昨年の十一

月には「特定受託事業者に係る取引の適正化等に關する法律」いわゆるフリーランス新法が施行され、当センターでも会員専用サイトを立ち上げ、就業条件について電子的方法による情報提供方法を実施するなどして同法への対応を行ったところです。

シルバー人材センターには、人生一〇〇年時代を見据え、高齢者の方々が就業を通じての生きがいや居場所として、あるいは地域社会への貢献する場としての重要な役割が期待されており、今後も、関係各位のご指導・ご支援を賜りながら会員と役員が一丸となつて、このような負託に応えるよう努めてまいります。

結びに、本年が、皆様にとってご健康で幸せに満ちたよい年になりますよう、心より祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人南部広域シルバー人材センター



理事長 有馬 均

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、日本各地で様々な自然災害が発生し大き

な被害をもたらしました。能登半島地震をはじめ、多くの地域で集中豪雨により河川が氾濫し住宅の浸水などの被害が出ました。被災地の復興支援など長期的な視点での復旧支援を願っています。また、世界的なインフレ、エネルギー価格の高騰など様々な要因が重なり物価が高騰した年でした。食料品やエネルギーなどの生活必需品の価格の上昇により、家計の支出が増加し生活が苦しくなる世帯が増えました。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は、たいへん厳しい状況です。昨年十一月に「フリーランス新法」が施行され、「契約の見直し」について経費と事務量が年々増加傾向にあります。また、デジタル化による会員への周知、発注者への丁寧な説明、事務処理等の円滑な移行が図れるよう順次進めてまいります。

今年度も会員拡大を図りながらさらに多くの皆様にシルバー人材センターの活動を知っていただき、会員の輪を広げていくことと、皆様の豊富な経験とスキルを生かして、地域社会において貢献できる魅力あるシルバー人材センターとなるよう役員一同努力してまいりますので皆様のかかわりご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。皆様が健康にご留意され、幸多いよい年になりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

公益社団法人智頭町シルバー人材センター



理事長 谷口 辰夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターの事業につきまして、地域社会の皆様、行政や関係機関のご支援と会員皆様のご協力を賜りますことに対して、厚く御礼を申し上げます。

さて、本センターを取り巻く情勢は、急速に進む少子高齢化により、人手不足分野からのお仕事も併せて進展しており、ご要望にお応えすることが困難なお仕事も生じるようになってきました。このような中、本センターが取り組む最重要課題は安全就業と会員増強です。

「安全は全てに優先する」を基本理念に、まずは、シルバー会員は高齢である事を認識した上で、「自分の安全は自分で守る」という意識啓発と安全・適正就業推進委員による現場パトロールを強化して安全意識の徹底を図ります。

次に、会員増強につきましては、センターでの入会希望者への説明は随時行っていますが、会員入会動機の一つは会員皆様からの声掛けです。引き続き

友達や知人を紹介していただきますよう宜しくお願いします。

元気なうちは、いくつになっても働き続けることができ、センターの会員が地域社会の要望に生き生きと応えていくシルバー集団でありたいと思います。

終わりに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

公益社団法人岩美町シルバー人材センター



理事長 中澤 博之

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨夏の暑さは一昨年同様各地で連日、最高気温三十五度以上の猛暑日が続きました。今年度も暑さとの戦いであり会員の健康を維持するため、就労時間の短縮を実施しました。「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業の根幹をなすものであります。今後も、会員相互が作業現場の安全性を再確認するよう徹底してまいります。

さて「高齢者等の雇用の安定等に関する法律（高齢者雇用安定法）」の経過措置が本年三月末に

終了し、四月から「六十五歳までの雇用確保」が完全に義務化されます。これは、企業規模や従業員数等に関係なく、全ての企業が対象となり、企業においては、労働力確保による人材不足の解消となります。しかしながら反面、当センターの会員確保は益々困難を強いられるのではないかと危惧しております。今後も月一回の仕事説明会を引き続き行ない、会員の入会勧誘につながるよう努めてまいります。

また安全就業と地域社会に密着した就業機会の確保・提供を行い、魅力あふれるシルバー人材センターを構築し、さらなる発展に努めてまいります。

終わりに、本年も関係各位のご支援とご協力を賜りますと共に、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

公益社団法人湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 **米村 繁治**

新年あけましておめでとうございます。

昨年は三年続いたコロナ感染による規制が解除され、生活様式も概ね日常を取り戻した年となりました。しかし、元日から能登半島大地震で始まりその後南海トラフ地震の警告等の地殻変動や、気候変動

によるゲリラ豪雨頻発による被害や過去最長に続いた猛暑など、自然環境の大きな変化がありました。

こうした環境変化の中で一昨年はインボイス制度導入、昨年はいわゆるフリーランス新法施行とシルバー人材センターを取り巻く環境も短期間で大きく変化してきました。そして、来年度以降には新たな契約方式への移行も控えています。こうしたある意味今後のシルバー人材センター運営の大変革に対して会員の理解とモチベーションを維持しながら、従来通りの健全運営を推進していくのは大変なことであります。その対応策をいかに効率的に進めていくのか試されるかのような感じさえしている状況です。こうした厳しい状況を迎えています。少子高齢化の進行、地域における人手不足を踏まえ、高齢者、高齢者の生きがい・就業対策等シルバー人材センターに求められる地域での役割を発揮しながら会員相互の交流を深め経験豊富な能力を発揮して、安全就業の推進と健全な運営を目指す所存です。終わりに、この一年が皆様にとって希望に満ちた年であり、これを祈念して新年の挨拶といたします。



公益社団法人琴浦町シルバー人材センター



理事長 **種子 光幸**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、琴浦町シルバー人材センターでは、近年の猛暑・酷暑対策のひとつとして、作業時間の短縮を図りながら要望に応じていけるように、緊急の会員増強に取り組みました。特に草刈班においては、作業時間や作業日程に余裕が持てるようになりました。

しかし会員拡大運動は日頃から心掛けなければならないことです。新会員向けの入会説明会も継続して進めてまいります。昨年は琴浦町内で県シルバー連合会主催の講習会のうち、剪定職場見学と遺跡発掘調査講習会の二講座が開催されました。どちらも実践的な講習となりました。様々な講習会が本年も計画され、入会につながればと期待します。

また、新たな需要の掘り起こしも重要課題であります。スポットワークという働き方が最近では注目されています。働き手の空き時間に利用できる手軽さが便利なようです。琴浦町では民間企業も数多く、活発な事業活動が展開されています。短時間でも働ける、技能が生かせる、そのような需要を確認しながら、特に派遣事業の進展を図ってまいります。

す。さらに「困ったときは、シルバーに相談してみよう」と思ってもらえる、そんな拠点として、様々な地域のニーズに応えてまいります。

本年は、乙巳（きのとみ）の年、これまでの努力や準備が始める時期と言われます。みなさまのたゆまぬ努力が多くの実を結びますようご祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人北栄町シルバー人材センター



理事長 日置 勝彦

新年おめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

今年こそ争いのない平和で安定した生活ができる年になってほしいものと思います。

内外の情勢は、ロシアのウクライナ侵略戦争が、二年十ヶ月を経過した今でも収まる気配がないところへ北朝鮮が参戦し、パレスチナ自治区ガザでのイスラエルとの戦闘も一年が経過したうえ、レバノン・イランへと中東での戦火が拡大し、多くの人命が虐殺され続けている現状に、本当に怒りを禁じ得ないところです。

国内の動きでは、鳥取県民の関心が高かった石破茂総理大臣が誕生いたしました。その後の総選挙に於いて自民・公明の与党が過半数を大きく割り込む結果となり、今後の国政運営において野党との連携が不可欠となり、より多くの国民の意向が反映されるものと思われれます。

こうした情勢の中、長引く円安を背景に生活必需品の毎月の値上がりが止まらず、私たち高齢者が安心して暮らせる生活環境は脅かされています。

このような中でも、北栄町シルバー人材センターの業績は、会員の皆様のシルバー事業への協力と熱意によって着実に進展が図られてまいりました。

ところで、昨年十一月にはフリーランス新法が施行となりました。この法律はフリーランスであるシルバー会員が、業務に安定的に従事できるように委託業者に規制を課すものですが、委託業者側となるシルバー人材センターは、給付の内容やその他の事項の明示を会員へ行わねばなりません。そのため業務負担が拡大するためセンターは、一層の業務効率化を進めていかねばなりません。

さて、本年の最重要課題としては、昨年同様に会員の拡大を喫緊の課題として取り組んでまいります。特に女性会員の拡大に配慮して就業場所の確保にも取り組みます。

日常的に安全就業を念頭に置きながら臨時的、短時間（短期間）、軽作業の業務開拓と併せて常に会員拡大に心がけてまいります。

更に、利用者の皆様に、いざというときシルバー人材センターが身近にあるという認識を持っていた

だくために「シルバーだより」や会員募集チラシなどの全戸配布を行う他、各自自治会との接点を強化する等いろいろな機会を活用して広報活動にも取り組んでまいります。

また、業務や交通など安全対策をしっかりと認識し、家庭での健康管理にも留意して就業に取り組むこととします。

今年も健康に気をつけ、元気で明るく楽しく就業に取り組み、北栄町シルバー人材センターへの信頼を高めてまいります。

公益社団法人大山町シルバー人材センター



理事長 谷尾 良

理事長に就任しての今年の抱負

「大山町シルバー人材センターの理事長であることを忘れてはならない」

日常社会でも「あの人は理事長だ」と見るだろう。三六五日理事長の名前はついて廻る。社会規範を守りお客様に愛情をもって接すれば、必ずシルバーへの理解は得られると信じている。そこに仕事への発注が生まれる。人とシルバー業務は一体である。信用無くしてはシルバーセンターは維持できない。

シルバー人材センターにも個人情報、守秘義務は

ある。これはどこにいても、ついて廻る。失言は許されない。

令和六年五月に理事長に選任され未知の世界へ飛び込んだ。理事を二期四年は経過していたとはいえ、いくらかは理解はしていましたが、さすが理事長となると決済時には緊張する。その責任の重さをひしと感じざるを得ない。数えきれないほどの職種を経験しました。それをシルバーの業務に生かせないか、日々考えているところです。就業制限の多いシルバーの業務。「何でチョッとくらいいいだろう」と思う心に落とし穴があるんだと思う。安全就労の原点は忘れてはならない。新任理事長が安易に考える場面なのか。それにしても業務制限が多いと考えるところです。業務Ⅱ収入です。いかにそれを克服するのが私の課題です。

昨年から今年にかけてインボイス、フリーランス法による事務の煩雑化に立ち向かう新理事長として周囲の理解を得ながら、この一年成果を出すべく努力をしております。

新年を迎え自らに与えた目標に対しご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

近頃思うところを列記し新年のご挨拶といたします。



一般社団法人八頭町シルバー人材センター



理事長 木下 晴正

新年あけましておめでとうございます。県内各センター会員の皆様、県連合及び各シルバー人材センター関係の各位におかれましても、穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私こと、令和六年度より八頭町シルバー人材センターの新理事長として就任致しました。よろしくお願いたします。私も会員として就業を重ねており、今後とも生き生きと自分自身の元気健康を保ちながらシルバーを通して地域への貢献を続けていきたいと思っております。シルバー人材センターは高齢者のそれぞれの方々が、人生において身につけられた経験、あるいは知識技能、又、高齢を迎える中で何か新たに地域に貢献したい意欲など、様々にご自分の活力を發揮できる、まことにくてはならない存在としてあるものです。

さて、一方で今シルバー人材センターが地域からの期待に積極的に活動を推進している中で、地域の人口減少、高齢化が急速に進行し、深刻な会員減少が困難な課題となってきました。様々な要因、異常とも云える年々の天候の変化、夏の猛暑にも勝てません。シルバーの事業の推進も国の方針など複雑な対応を必要とする状況も増えてまいりました。

高齢者の仲間が元気健康、安全安心を旨として手をたずさえて生き生きとがんばらねば...と。

地元八頭町は昨秋に内閣総理大臣を輩出した町、全国的にも有名になりました。高齢者もますます意気軒高であらねばと新年を迎えたところであります。

江府町シルバー人材センター



理事長 南波 英幸

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、猛暑日の連続でしたが、熱中症を防ぐために扇風機付の作業ベストを着用いただき、暑い中でもスムーズに作業がはかどり、事故もなくセンター一同大変喜んでおります。

今年も会員の皆様には、安全第一に就業活動に参加していただきたいと思っております。新規加入者の増員に向けて声掛けをしていただけたらと思っております。

最大の課題は新規会員の獲得です。当センターでは業務の効率化を図るためのソフトの導入、フリーランス法への対応など様々な課題を抱えております。

最後になりますが、会員の皆様にとって益々のご活躍、ご健勝を祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

いただきます。

日南町シルバー人材センター



会長 坪倉 幸徳

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様をはじめ関係機関のご指導やご協力をいただき、大きなトラブルもなく事業を推進できたことに感謝を申し上げます。
日南町は相変わらず高齢化率が高く、独居老人も増えつつあり依頼される仕事の内容も多様化しつつあります。それに伴い会員が不足している状態ですが、なんとか町老の皆様の依頼に応えるべく会員を募集しているところです。

昨年十月から郵便料金の値上げということで、スマホ教室も開催してメールやラインでの連絡ができればようにしたいと思えます。それからグラウンドゴルフ大会等も開催して、その後で懇親会を開いて会員の親睦も図っていききたいと思っています。

昨年は県の就業安全大会で多年に渡り無事故が続いたということで、表彰をしていただきましたが、その後でチョットした事故が発生してしまいました。

た。これを教訓にこれからはこのようなことが起らないように、会員全員が心を引き締めて安全就業に取り組んでいききたいと思えます。

また、これからも日南町の皆様の依頼に応えるべく信頼される日南町シルバー人材センターでありたいと思えます。終りになりますが本年もご支援とご協力を賜りますと共に、皆様方の繁栄とご多幸を祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

三朝町シルバー人材センター



理事長 田渕 忠昭

謹んで新年の^{ことほ}喜びを申し上げます。

昨年は一昨年に増して猛暑の一年でありました。年々地球温暖化の現象でしょうか、猛暑が増していくように感じます。昨年は元日から能登半島大地震、そして二日夕には、羽田空港での航空機事故とシヨッキングな年明けでした。また、台風被害も各地で激甚指定されるほどの災害となるなど、心の折れるような年でありました。犠牲になられた方々に対し哀悼の意を表します。本年も昨年に増して猛暑が予想されます。高齢の私たちは敏感に状況を感じ、「自分の命は自分で守る」を第一に作業をしていききたいと思えます。

三朝町シルバー人材センターにおきましては、今年目標に、会員の募集、安全作業の徹底、会員の健康管理を掲げ、主に熱中症・冬季作業・雨天時作業等に気をつけていきます。

年々作業の内容も変化してきます。特に目立つのが、個人様の屋敷内の除草、草刈り、庭木の伐採等です。家人が高齢になったり、空き家になったりと管理が難しくなりセンターに依頼されるようになってきています。

その中であって、六十歳前半の会員さんの確保が難しくなっています。企業の定年延長が進み定年を迎えるのが六十五歳を過ぎる方が多くなっています。定年後はゆつくりされたいという方、孫の世話に忙しい方もあり、人生一〇〇年といわれていますが、それは身の周りのことはできても外仕事のことではないのであります。

なおかつ、経験や資格（一部の作業）の問題もあり、幅の広い顧客の要望にできる限りお応えしたいと思いとの間で葛藤の毎日であります。公共の作業もあり、最低でも刈払い作業の資格は必須であります。

後期高齢者の要望に、後期高齢者がお応えするという社会になっていくと思えます。

その上で年頭に祈願するのは、会員皆様の健康であります。引き続き本年も、健康に留意され作業をお願いしたいと思います。



令和五年度(下半期)事業実施状況

第二回理事会

- 令和六年三月二十一日(木) 倉吉市において、第二回理事会を開催した。
- 議案第一号
令和五年度収支補正予算書(案) について
- 議案第二号
令和六年度事業計画(案) について
- 議案第三号
令和六年度収支予算書(案) について
- 議案第四号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員給与規程の一部改正(案) について
- 議案第五号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正(案) について
- 議案第六号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会派遣労働会員就業規則の全部改正(案) について
- 議案第七号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会賛助会員の入会承認について
- 議案第八号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会シルバー事業中期推進計画(案) について

令和六年度(上半期)事業実施状況

令和六年度定時総会

- 令和六年六月二十一日(金) 倉吉市にて定時総会を開催し、すべての議案が原案どおり承認された。
- 議案第一号
令和五年度事業報告承認の件
- 議案第二号
令和五年度決算報告承認の件
- 【監査報告】
議案第三号
理事(補充) 選任の件

第一回理事会

- 令和六年六月五日(水) 倉吉市において、第一回理事会を開催した。
- 議案第一号
令和六年度定時総会(案) について
- 議案第二号
令和五年度収支補正予算書(案) について
- 議案第三号
令和五年度事業実施報告書(案) 及び収支計算書(案) について
- 【監査報告】
議案第四号
令和六年度収支補正予算書(案) について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会第十三期理事(補充) 候補者の選考について

臨時理事会

- 令和六年六月二十一日(金) 倉吉市において、定時総会終了後、臨時理事会を開催した。
- 議案第一号
公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会副会長の選任について

第二回理事会(決議の省略)

定款第三十七条の規定に基づき理事会の決議事項について、令和六年八月三〇日(金)を回答期日として、理事及び監事に提案をした。

その結果、理事及び監事の全員から同意を得た。

議案第一号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正(案) について

第二回事務局長会議

令和六年六月七日(金) オンライン会議(ZOOM)方式で、第二回事務局長会議を開催した。

議題

- ・ 第一回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達
- ・ 今後の連合会主催の主な会議等の日程について

第一回事務局長会議

令和六年一〇月一〇日(木) オンライン会議(Zoom)方式で、第二回事務局長会議を開催した。
議題
・第二回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達

第一回安全・適正就業推進委員会

四月十六日(火) オンライン開催、原案どおり承認された。(出席者十六名)
議題

- 一 令和五年度 事故(傷害・賠償)発生状況について
- 二 令和六年度 安全・適正就業対策実施計画(案)について
- 三 その他

安全・適正就業推進委員会委員による安全パトロール

八頭町シルバー人材センター
安全・適正就業推進委員 三名
六月十九日(水) 八頭町 八頭町役場船岡支所
剪定作業 就業会員 三名
北栄町シルバー人材センター
安全・適正就業推進委員 三名
九月十七日(火) 北栄町 北栄町公民館前庭
剪定作業 就業会員 五名

大山町シルバー人材センター

安全・適正就業推進委員 三名
十一月十九日(水) 大山町所子
草刈作業 就業会員 三名

安全・適正就業指導員による安全パトロール・講習会

米子広域シルバー人材センター安全パトロール

六月五日(水)
米子市南公園墓地 草刈作業 就業会員 二十名
北栄町シルバー人材センター草刈ボランティア安全講習会 六月一〇日(月)
旧運転免許試験場跡地 草刈作業
会員 二十六名

八頭町シルバー人材センター草刈安全講習会

六月十二日(水)
八頭町SC近隣公園 草刈作業
就業会員 十二名

湯梨浜町シルバー人材センター安全パトロール
六月十四日(金)

旧北浜中跡地 草刈作業 就業会員 十四名
旧東郷中跡地 草刈作業 就業会員 七名
湯梨浜町引地 剪定作業 就業会員 四名
米子広域シルバー人材センター安全パトロール
七月三日(水)
市内夜見町個人宅 剪定作業 就業会員 三名

境港市シルバー人材センター安全パトロール

七月十七日(水)
市内東本町個人宅 草刈作業 就業会員 四名
市内メモリアルパーク 除草作業
就業会員 四名

市内藪田公園 草刈作業 就業会員 五名
市内福定町個人宅 除草作業 就業会員 三名
岩美町シルバー人材センター安全パトロール
七月二十三日(火)

町内岩井個人宅 剪定作業 就業会員 二名
町内浦富 駐車場料金徴収 就業会員 三名
町内牧谷 駐車場料金徴収 就業会員 二名
智頭町シルバー人材センター安全パトロール
七月二十六日(金)

町内大呂 草刈作業 就業会員 四名



南部広域シルバー人材センター安全パトロール
七月二十九日(月)

町内猪小路 ハウスクリーニング

就業会員 三名

町内落合 草刈作業 就業会員 六名

倉吉市シルバー人材センター安全パトロール

八月二日(金)

市内福庭町 剪定作業 就業会員 四名

市内鴨河内 剪定作業 就業会員 六名

琴浦町シルバー人材センター安全パトロール

八月六日(火)

S C内 障子張替作業 就業会員 二名

生涯学習センター前 草刈作業 就業会員 四名

鳥取市シルバー人材センター安全パトロール

八月十九日(月)

市内嶋 草刈作業 就業会員 二名

市内卯垣 剪定作業 就業会員 三名

米子広域シルバー人材センター安全パトロール

九月一〇日(火)

米子市南公園墓地 草刈作業 就業会員 十五名

江府町シルバー人材センター

一〇月二十五日(金)

江府町内 草刈作業 就業会員 三名

各現場に訪問し安全啓発・指導を行った。

安全・適正就業研修会

令和六年度安全・適正就業研修会を七月十九日に倉吉体育文化会館大会議室において、参加者七十九人で開催した。「安全就業優良センター」・「安全標語の表彰」を行い、片山労働局地方産業安全専門官より「高所作業における安全対策について」の講話と三センターから事例発表をいただき、安全意識の高揚と徹底を図ることができた。

経験交流大会

会員相互が情報共有し、今後のシルバー事業の取り組みに生かす令和六年度経験交流大会を一〇月三十一日に倉吉体育文化会館大会議室において参加者六十九人で開催した。

開会是有馬会長のあいさつで始まり、鳥取労働局森脇職業安定部長の来賓あいさつ、倉吉保健所医薬・感染症対策課堀内係長より「上手な医療のかか



り方」について基調講演をいただいた。続いて、四センターから新任理事長・新事務局長のシルバー事業への熱い思いの講話があり、参加者全員で情報共有と今後のシルバー事業推進を再確認することができた。

安全・適正就業講習会

令和六年度の安全・適正就業講習会は、東・中・西部地区で各市理学療法士・保健師による「転倒対策と予防(実技)」について」を実施した。

西部地区

十一月五日(火) 米子広域シルバー人材センター

参加者二十三名

中部地区

十一月八日(金) 倉吉体育文化会館

参加者十八名

東部地区

十一月七日(木) 鳥取市シルバー人材センター

参加者十六名



令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業

各種技能講習の開催



今年度の高齢者活躍人材確保育成事業は、県内の元気な高齢者に、人手不足分野や現役世代を支える分野などで就業して活躍いただくために、8種類の技能講習のほか、就業体験、職場見学、セミナーを計画・実施しました。

開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
東部 鳥取	剪定技能講習	7月4日(木)~5日(金)	2	10	9	8
	草刈技能講習	7月17日(水)	1	10	6	6
	障子張替講習	9月5日(木)	1	10	14	14
	ハウスクリーニング講習	11月6日(水)~7日(木)	2	10	17	15
	スマホ講習	11月26日(火)	1	10	10	10
中部 湯梨浜 倉吉 琴浦	草刈技能講習	6月14日(金)	1	10	18	18
	剪定技能講習	6月25日(火)~26日(水)	2	10	8	7
	障子張替講習	9月12日(木)	1	10	10	10
西部 米子	遺跡発掘調査講習	10月4日(金)	1	10	12	12
	草刈技能講習	5月27日(月)	1	10	12	12
	剪定技能講習	6月5日(水)~6日(木)	2	10	10	9
	自動車安全運転講習	7月25日(木)	1	12	5	5
	障子張替講習	9月19日(木)	1	10	9	9
介護補助講習	10月8日(火)~9日(水)	2	10	13	12	
合計	14		19	142	153	147

令和6年11月26日現在



草刈技能講習・湯梨浜



剪定技能講習・倉吉



遺跡発掘調査講習・琴浦



ハウスクリーニング講習・鳥取



障子張替講習・鳥取



介護補助講習・米子

就業体験・職場見学・セミナー等の開催



就業体験は、介護施設の協力を得て開催しました。
職場見学は、センターの現場の協力と依頼者の理解を得て開催しました。

■就業体験

就業体験名	会場	日程	日数	定員	参加者
介護補助・就業体験	医療法人真誠会	10月10日(木)	1	10	6
合計	1		1	10	6



介護補助・就業体験・米子



■職場見学

就業体験名	会場	日程	日数	定員	参加者
剪定・職場見学	琴浦町逢東地内	6月27日(木)	1	10	2
合計	1		1	10	2



■教室

セミナー名	会場	日程	日数	定員	参加者
ガーデニング教室	とっとり花回廊	10月23日(水)	1	40	50
手作りかご編み教室	とりぎん文化会館	11月12日(火)	1	20	20
手作りかご編み教室	倉吉未来中心	12月3日(火)	1	10	10
合計	3		3	70	80



ガーデニング教室・南部



手作りかご編み教室・鳥取



周知・広報活動

2 テレビCM放送による広報活動

子供と会員出演による「会員募集中」のCMを作成し、民放テレビ局3社で放送しています。



4 チラシの配布による広報活動

表面に会員・仕事募集中、裏面に技能講習等開催予定を掲載したチラシを作成し、公共機関等に配布しました。



6 デジタルサイネージ広告による広報活動

JR鳥取駅前、米子市内交差点及び県東部と西部の大型商業施設に設置された大型デジタルサイネージを活用した広報活動を実施しています。



商業施設のデジタルサイネージ広告

1 ラジオ出演による広報活動

生放送の番組に出演し、センターの概要を説明するとともに入会を呼びかけました。



3 新聞折込チラシによる広報活動

毎日曜に新聞折込される「求人情報紙」に、会員・仕事・技能講習等受講者募集等の広告を掲載しました。



5 経済団体広報紙等へ仕事募集の広告掲載による広報活動

商工6団体の広報紙に仕事の募集広告を掲載しました。また、「県政だより」に会員募集等の広告を掲載しました。



60歳以上の健康で働く意欲のある方

厚生労働省鳥取労働局「高齢者活躍人材確保事業」

シルバー人材センター



会員 仕事 募集中

(公社)鳥取県シルバー人材センター連合会 Tel: 0859-37-2531

交差点のデジタルサイネージ広告



公益社団法人 北栄町シルバー人材センター

事務局長 田中英伸

北栄町は、鳥取県の中央に位置し、北には日本海に面した白砂青松の景色が広がる砂丘があり、南には肥沃な黒ぼく土の丘陵地帯が広がる農業が盛んな町です。

また、漫画「名探偵コナン」の作者 青山剛昌さんの出身地であることから、「コナンに会える町」とも呼ばれています。

当シルバーは、平成十七年一月に旧北条町と旧大栄町の合併で「北栄町シルバー人材センター」が誕生し十九年目を迎えました。現在（令和六年十月三十一日時点）の会員数は一六八人で、今年度に入っ

て十三人の会員増となりました。
当シルバーが合併して十周年（平成二十七年年度）の記念事業として、始めた「会員G・G大会」、「日帰り研修会」は、現在も続けており、会員同士の交流を深める場として、会員は楽しみにしております。

これ以外に、当シルバーとしては、こども園の園児に田植えを体験させるためにボランティアとして

参加し、田植えの指導をおこなう活動もしています。秋には、その時に植えた苗からできたお米を使って、こども園でおこなわれる「おにぎり会食」には、ボランティアで参加した会員も招待され、園児たちと楽しい時間を過ごしています。

その他に、毎年六月には、町の行事に多く使われる広場の草刈りも、三十人近い会員のボランティアでおこなっており、地域への貢献にも取り組んでいます。

また、もち米の稲わらを利用して、「しめ飾り」を作り事業を展開しております。町内全戸にチラシを配り、注文を受けています。昨年は、大小あわせて、七〇〇個を超える注文があり、年末には早朝から二十名ほどの会員が集まり、「裏白」や「ゆずり葉」などの飾り付けをおこなっている、その後、注文家庭に配布しています。今後も会員拡大、安全就業に努めると

ともに、適正就業ガイドラインの目的に沿って、人材センターで働く高齢者の適正な就業の確保に努めてまいります。



会員研修



田植え



田植え



しめ飾り



草刈り



日南町シルバー人材センター

事務長 西村 幸治

当センターは、平成十二年に設立され、平成二十六年から社会福祉協議会の組織に統合され、シルバー事業部として現在は活動を行っています。

当初、会員数は六十名近くでしたが現在は、五十名を下回り会員確保が課題であります。高齢化が進み業務を行う上で特定の会員の負担となつてきています。特に、今年のような気候では業務に支障が出ています。

令和二年の新型コロナ禍が続く中でありますが、例年並みの受託件数は減らず、限られた会員でやり繰りしています。特に高齢者軽度生活支援事業登録者からの仕事依頼が増加傾向です。会員数増加に向け、行政と話し合いを行い会員確保に取り組んでいるところです。もし、定年後日南町へUターンやIターンを考えている方があれば、事務局へ申し出いただきますようお願いいたします。皆様のお知恵を是非ともお借りしたく存じます。



研修会（グラウンドゴルフ後の懇親会）



ガラス掃除



運営委員会

会員の広場



一般社団法人
八頭町シルバー人材センター
木下 晴正

友人の紹介で八頭町シルバー人材センターへ入会して十年が経ち、その間には色々な仕事をさせていただきました。草刈り、ペンキ塗り、地籍調査の補助、芝刈り等いろんな仕事ができ、楽しくやっています。安全第一、健康第一に自分の年齢に〇・七を掛け頑張っています。一度しかない人生、仕事に遊びに力を注いでいます。

私の趣味は離島巡りの旅です。主に南西諸島です。印象に残ったいくつかの島を紹介します。与那国島、波照間島に行った時は一日三便飛行機を乗り継ぎ、この時はさすがに疲れましたね。宿の雑記帳をめくっていると今日で一四日目に足止め、会社クビになる…と書いていた人がいました。宿の主人に聞くと、時々ありますよ…と空も海も荒れると交通機関が止まって足止めになるみたいです。屋久島の近くの口永良部島へ行った時、島を歩いている時、島の人に、あなたは民宿の〇〇に泊まっているでしょう！何で知っているのだろう？一〇〇人ぐらいの小さな島だから、皆家族みたいなものかな？会

う人、仕事で来たの？いいえ観光です。と言うと、めずらしいねと…四日間滞在して帰る前日、明日は船が来ないから漁船で帰ってね！びっくりですね。無事屋久島に着いたのですが、島旅はこれだから楽しい?!口永良部島は火山島で温泉が四ヶ所ぐらいあり全部入りしましたよ。もう一つ紹介する島は南大東、北大東島。この島はサトウキビの島で、

行った時は収穫の時期で、大型のハーベスターが何台も動いていて、その中の一台に乗せてもらいました。大東島は船が小さく波があるため岸壁には直接接岸できない為、5mぐらい離れてロープで固定し、人、物は陸の大型クレーンで吊り上げ降ろしています。スリルがあり楽しいですよ。人をコンテナで運ぶのは大東島だけ?!

私の最終目標の島は『宝島』イギリスの海賊キャプテンキッドが財宝を隠した島と言われている島へ、宝捜しへ！ 島への旅は天候をよく調べてから行ってくださいね！



ハーベスターに乗る



日本最南端の碑・波照間島



人をコンテナで運ぶ



サトウキビの収穫



山に魅せられて

公益社団法人
湯梨浜町シルバー人材センター
山根 信司

働き始めて三年目、草刈りをしています。町内のいろいろな場所に思い出ができて楽しいです。

さて、私の趣味は山登りです。厄年の頃から本格的に始め、もう二十年を超えました。ソロのテント泊です。約二十kgの荷物を背負って登るのは決して楽ではありませんが、予約不要・安価でかつ感染症リスクが低いこと、加えて何より静寂と孤独を楽しむことは苦しさを差し引いても余りある喜びです。

登山は臆病なくらいでちょうど良いです。勇敢は間違えと無謀になります。あらゆるリスクを想定しその対策を立てておくのが冒険です。それでも予期できない問題が起こるのが登山。それを乗り越えるには体力が必要です。シルバーで働くことは自然と体力維持に繋がります。登山の準備になっています。

地元の大山以外に県外にも好んで出かけます。岩稜の織りなす荘厳な日本アルプスの景観は、世界的に見ても素晴らしいです。適期は大きく三つ。梅雨

入り前の六月、梅雨明け後の八月、紅葉が美しい十月です。これらの時期に約一週間の時間を作れるシルバーは私にとって大変都合が良いです。また、冬は基本的に仕事が無いのも私の年間スケジュールに合います。

冬は山スキーです。一、二月は大山で鍛えます。江府町の木谷沢をスタートして駒鳥小屋経由で振り子沢に向かうコースは西日本屈指の名コースです。三、四月は海外に出かけることがあります。氷河を滑ります。英語ガイドは日本語ガイドの半額なので、英語ツアーに参加しま



大山振り子沢



雨の聖岳



イラン人女性

す。フランスのシャモニーでは英・米・独・加の男性の他にイラン人女性とも滑りました。片言の英語で国際交流できるのは日本語ツアーにない楽しみです。日々老化していく自分ではありますが、趣味もシルバーも楽しく続けられたらと願っています。

俳句と絵手紙



公益社団法人
鳥取市シルバー人材センター

平田 富美子 (俳号 美穂)

令和七年明けましておめでとう御座います。私がシルバーに入会して、七、八年になりますか、少しでも社会の皆様のお役に立てればと思いい入会致しました。母の在宅介護が十年余り続いて、母を見送りました。手が空いたので考えてのことです。

趣味の俳句と絵手紙は、三十年程前に始め、その頃更年期障害で気分が滅入ることが多く、絵手紙で筆を持ち画材に向かっていますと夢中になります。



おりも、NHK趣味悠々の講師小池邦夫氏の「心を贈る絵手紙入門」の講座があり、そちらで学びました。

俳句は絵手紙と同じころに始めました。俳句は白岩敏秀先生の御指導のもとで学び、句会に出席して銘々の句を提出し、互選をして先生に漢字と表現の間違いを、またもっと良くなるように御指導頂きます。先生に訂正してもらおうと、俳句の表現が的確になります。俳句表現の感覚を皆さんと共に磨いています。何時しか更年期を乗り越え今まで続けていま



俳句会の白岩敏秀先生と仲間達
前列左端が筆者

す。絵手紙は友人に折々の季節の便りにしています。昨今はメール、SNSの時代ですが、絵手紙は絵が主な表現なので、言葉と違うインパクトがあります。小池邦夫先生の御言葉で「ヘタでいい、ヘタがいい」の言葉を頭においていつも力を抜いて描いています。シルバーの仕事はいつまでできるかわかりませんが、会員の知人に八十歳を過ぎても元気に活躍している方がおられ、私は先輩を見習い頑張ろうと思っています。それには現状の健康を維持して続けたいと思いますが、この健康維持が大変で腰が痛い、肩が痛い、気力体力が出ないとなり、歳と共に落ちますので、心身共にいつまでも健やかでいたいと願っております。

趣味のひごととき



センターの仕事と グラウンドゴルフ

公益社団法人
琴浦町シルバー人材センター

竹田 勉

センターの会員となって十年を迎えようとしています。入会当初から草刈りや農作業といった屋外での作業を中心に、センターの仲間たちと日々過ごしています。

近年の気温の上昇に伴い、センターでの就業も大きく変わってきました。これまで一日を通して就業していましたが、ここ最近は午前中でセンターの仕事を終了し、午後からは自分の時間として過ごすようになってきました。

以前から趣味でグラウンドゴルフを行っており、空いた時間があれば、ゴルフ仲間と楽しい時間を過ごしています。

グラウンドゴルフは様々な大会がありよく参加していますが、その中で他市町のシルバー人材センターの会員さんとも顔見知りとなり、情報交換を通じて親睦を図っています。



今年は、センターの草刈り会員も増え、新入会員とも和気あいあいと仕事をしています。仕事の合間の休憩時間では、笑いの絶えない時間を過ごすことができるほど、和やかな雰囲気の仕事ができる環境を嬉しく思っています。

これからも、センターの仕事と趣味のグラウンドゴルフを楽しみ続けていきたいと思えます。



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社) 鳥取市シルバー人材センター	奥田 恒久	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社) 米子広域シルバー人材センター	松岡 勉	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社) 倉吉市シルバー人材センター	田民 義和	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社) 境港市シルバー人材センター	米村 健治	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社) 南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社) 智頭町シルバー人材センター	谷口 辰夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社) 岩美町シルバー人材センター	中澤 博之	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社) 湯梨浜町シルバー人材センター	米村 繁治	682-0723	東伯郡湯梨浜町久留98-4	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社) 琴浦町シルバー人材センター	種子 光幸	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社) 北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社) 大山町シルバー人材センター	谷尾 良	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社) 八頭町シルバー人材センター	木下 晴正	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	南波 英幸	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	坪倉 幸徳	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



あけまして
おめでとう
ございます

表紙に寄せて

八頭町と若桜町・鳥取市まで走る若桜鉄道。八頭町内の隼駅は大型バイク「隼」と同じ駅名で愛好者から聖地として親しまれ、毎年八月には県内外から二千台以上のライダーたちが集まり、隼駅祭りが開催される。そのライダーたちの熱い思いにこたえ、ラッピング車輛「隼」が誕生した。別に「昭和」「八頭」「若桜」号の三車輛のレトロ調の車輛が走り、住民の憩いの風景となっている。

あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第三十九号の発行を迎えることができました。まづもって厚くお礼申し上げます。

昨年は元日早々に能登半島地震が発生し、大変な年明けとなり、その後も気候変化で大雨等の自然災害が多発した年でした。又、明るいニュースとしてパリ五輪での日本選手メダル四十五個の獲得、ドジャーズ大谷選手の大活躍等がありました。政局では石破首相の誕生、衆議院議員選挙の与党過半数割れの混迷、トランプ氏の大統領返り咲き等、めまぐるしい波乱の年になりました。

一方、シルバー事業はインボイス制度やフリーランス新法への適切な対応、契約方法の見直し等、センターを取り巻く環境は大きく変化し、事務の効率化やデジタル化の推進が求められています。

今年二〇二五年が、皆様にとって元氣いっぱいの良い年になりますよう願っています。

会報 鳥取 第三十九号

令和七年一月発行

発行：公益社団法人

鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0811

鳥取県米子市角盤町一丁目七六

電話：〇八五九-三七一五三

FAX：〇八五九-三七一五三七

